

事業計画書（実績書）

令和4年 1月14日
 団体名 FUN FACTORY

<p>事業の目的</p>	<p>都会では美術館や Event 等で、芸術に触れる機会が多い。地方に行くとふれあう機会が極端に少なくなる。私自身、デザイン学校へ行く時には、当時地元では情報を得ることが出来ず、大阪などへ出向き情報収集していた。もっと地元にながらも芸術（デザイン）に触れて情報提供できる場所を作りたい。そして「作る」「創造する」事に興味を持ってもらえる人を応援したい。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>デザイン ラボ</p>
<p>事業費 （市補助金）</p>	<p>122,288 円 （ 100,000 円）</p>
<p>補助金の使途</p>	<p>講師費用、会場費、広告費、チラシ制作費、交通費①、消耗品費</p>
<p>事業の実施期日</p>	<p>令和3年12月18日（土）</p>
<p>事業の実施場所</p>	<p>綾部市（アスパ内 2F 空き店舗）</p>
<p>事業の概要</p>	<p>子供達に好きなイラストを描いてもらい、その絵をデザイナーがその場でパソコン、iPad を用いてデジタルキャラに仕上げていく。作業過程をモニターに映し、出来上がっていく様子を見てもらった。</p> <p>現役デザイナーによる悩み相談なども行い、今疑問に思っていることなどの問題解決のお手伝いをした。</p> <p>【特に多かった質問】 イラストレーターになるためには専門学校は必要ですか？ どんな道具でどうやって描いていますか？</p> <p>来場者数 50 名程度（内 23 名がキャラクター作成）</p>
<p>補助金の効果（成果）</p>	<p>目の前でキャラクターが出来上がっていく様子に子どもたちはもちろん親御さんも喜んでおられ、みんなで楽しむことができた。</p> <p>デザイン系の学校に進学したいがどうすればいいのか？デザイナーってどんな仕事しているのか？など、これから進学を考えている学生さんの問題解決ができた。（ネットでは分からないリアルな情報など教えることが出来た。）地元のイラストレーターやデザイナー同士が情報交換・新たに繋がる事が出来た。</p> <p>地元企業もこのイベントに興味を持って頂き、自社イメージキャラクターなどを子供達に考えてもらいたいと検討してもらっている。</p>

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和4年 1月14日

団体名 FUN FACTORY

（単位：円）

	区 分	予算額	収入済額	明 細
	収入の部	市補助金	100,000	100,000
参加費		10,000	6,900	
自己資金	17,000	15,388		
	合 計	127,000	122,288	
	区 分	予算額	支出済額	明 細
	支出の部	講師費用①	45,000	45,000
講師費用②		5,000	5,000	5,000×1人
会場レンタル		6,000	5,500	アスパ空き店舗
備品レンタル		3,000	0	
新聞広告費		23,000	21,450	あやべ市民新聞(4段)
チラシ等制作費		30,000	20,000	
会場看板		5,000	0	
参加者プレゼント		10,000	1,700	100×17人 ※参加は23人ですが6名はプリントではなくデータでのお渡し
交通費①		0	3,140	JR(片道3名分)
交通費②		0	14,880	タクシー、高速
消耗品費		0	2,787	消毒液、文具他
備品購入費		0	2,831	電源ケーブル、SDカード
		合 計	127,000	122,288
	差 引	0	0	